

# 火遊びによる火災を防止する

火遊びが原因による火災が毎年全国で 2,000 件前後発生しています。その大半がライターやマッチ、花火によるものです。子供の火遊びによる火災は、大人がいないときや、人目に付きにくい場所で発生することが多いため、発見が遅れたり、初期消火が困難になるなど、火災が大きくなることがあります。

火遊びをさせない為に、次のような点に注意を払うとともに、日頃から子供たちに火の怖さや取り扱い方を教えてあげましょう。

## しょうぼうの広場

火災、救急、救助は・・・

# 119



### 1 マッチやライターを子供の手の届くところに置かないようにしましょう。

子供の火遊びを防ぐ最良の方法は、簡単な操作で着火するマッチやライターなどを子供の手の届かない場所へ置くことです。

### 2 子供だけを残して外出することを避けましょう。

やむをえず子供だけを残して外出する場合には、ガスこんろなどの元栓を閉めて火が付かないようにし、外出時間もできるだけ短くしましょう。

### 3 子供だけでは火を取り扱わせないようにしましょう。

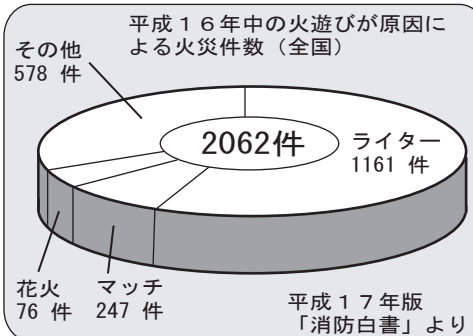
子供は、たとえ火の取り扱いができていても火の持つ危険性を十分に理解することはできず、火の適切な取り扱いは期待できません。花火やたき火をする時には、必ず大人が立ち会いましょう。



### 4 子供が火遊びをしているのを見かけたら、注意してやめさせましょう。

子供は火遊びにスリルと興奮を覚えるもので、エスカレートしていくとその頻度も増え、行動も危険なものとなります。

子供の火遊びを見つけたら必ず注意し、やめさせましょう。



### 5月の救急・火災情報



救 急		火 災	
◆ 出動件数	63 件	◆ 発生件数	3 件
◆ 運んだ人	62 人	◆ 内 訳	
◆ 内 訳		林 野	2 件
急 病	35 件 34 人	そ の 他	1 件
交通事故	6 件 8 人		
そ の 他	22 件 20 人		

## 消防一口メモ

### プラグチェックしてありますか？

お宅の冷蔵庫は購入してもう何年になりますか？冷蔵庫のプラグやコンセントは壁の隙間や後ろ側にある場合が多く、普段は気にとめることもありませんが、そこが問題です。長い間にプラグやコンセントにホコリがたまりそこに水分がついて、火花放電が起こり、発熱して発火に至ります。これはトラッキング現象といって、実際に火事となったケースがあります。年に一度はプラグやコンセントのチェックをしましょう。